

- 都市部以外の、通学可能な高校が限られている少子化が加速する地域（例えば、**離島・中山間・過疎地域・へき地等**）の高校生たちの多様な学びのニーズには、どのように応えていくことができるのだろうか？
- こうした地域の高校は、多様な生徒のニーズを小さな一校で一手に対応するため学校の特色化は困難であり、学校外の多様な教育機関等もないため、**少ない教職員で多様なニーズに総合的に対応しようとし、多忙化している**。こうした地域の高校における、**教育格差を越え「誰一人取り残さず」に生徒たちに質の高い教育を提供できる、新しい時代の高校の在り方とは**どのようなものであろうか？

